社内文書の効率的で安全な共有のために
―ファイルサーバー統合管理ソリューション―

企業内のビジネス文書が加速度的に増え、文書共有・管理のためのファイルサーバーの数も増え続けている。問題は、それによって文書管理が複雑化し、セキュリティの不備が生じていることである。本稿では、現状の文書管理の問題点を整理するとともに、野村総合研究所（以下、NRI）の「File Server Protector」による統合管理手法を紹介する。

ファイルサーバー利用上の課題

企業内で情報を管理・共有する手段として、簡単に設置できて使い方も簡単であることから、多くの企業でファイルサーバーが使用されている。しかし、ファイルサーバーが乱立したために管理負荷の増大や情報漏えい対策の不備を招いているケースも多い。

ファイルサーバーは、社員間やパートナー企業との間で情報を共有するための効率的な手段だが、それは情報漏えいや改ざんのリスクと表裏一体である。

ファイルサーバーの運用において、システム管理者はフォルダーの整理やアクセス権の管理などに細心の注意を払う必要がある。こうした管理がおろそかになれば、ファイルサーバーの統制が崩れ、情報漏えいのリスクを抱えることになる。

ハードルが高い文書管理システムの導入

このような問題の解決策の１つは文書管理システムの導入である。しかし、本格的な文書管理システムの導入は一般的にはハードルが高い。

まず文書管理システムの導入に当たっては、文書情報の棚卸し（既存文書の管理方法やライフサイクルなど）と、文書が保管されているインフラ情報の調査を実施する必要がある。その上で、現行システム（ファイルサーバーなど）の存続可否や、移行対象文書の精査など、文書管理システムに移行する範囲の特定を行う。このほか文書管理システム導入後の運用ポリシーや運用手順の策定、業務プロセスの変更も必要になる。さらにシステムの運用コストも考慮しなくてはならない。

ファイルサーバーという極めて簡便なインフラが乱立しているために、文書管理システムの導入には多くのコストがかかるのが現状である。

管理コスト削減とセキュリティ強化を両立

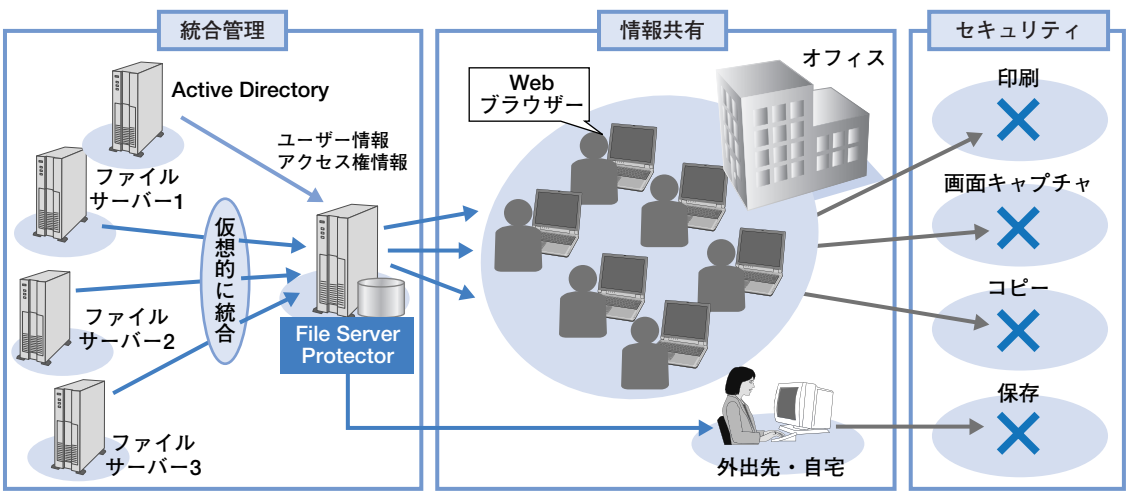
上記の問題点を解決するのが、NRIのファイルサーバー統合管理ソリューション「File Server Protector」である（図１参照）。

「File Server Protector」は、ファイルサーバーとユーザーとの間に管理サーバーを配置するだけのシンプルな構成で、既存文書を移行することなく、従来のファイルサーバー環境をそのまま利用することができる。またMicrosoft社のActive Directory（ドメイン管

レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2010 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

野村総合研究所
基盤ソリューション事業本部
DIソリューション事業部
副主任システムコンサルタント
兼子和巳（かねこかずみ）
専門はコンテンツ管理における企画・開発

図１「File Server Protector」の導入イメージ



理のためのディレクトリサービス）と連携してユーザー情報やアクセス権情報を引き継ぐことができるため、運用手順や業務プロセスの変更を最小限に抑えられる。主な機能は以下のとおりである。

①統合管理

複数のファイルサーバーがあっても、そらは仮想的に統合され、従来は分散管理されていた文書を１つの画面上から参照・管理できるようになる。

②情報共有

Webブラウザーを利用する方式のため、社内のイントラネットだけでなく外出先や自宅からでもインターネットを通じてファイルサーバーにアクセスすることができ、文書の共有が格段に容易になる。

③セキュリティ

「File Server Protector」を使用して閲覧された文書は、持ち出しや二次利用を制限する以下のようなセキュリティの設定が可能である。

・保存制御：ユーザーのPCへの保存の可否
・印刷制御：印刷の可否
・キャプチャ制御：画面キャプチャの可否
・編集制御：加筆や訂正、コピー&ペーストなど文書変更の可否

このように、「File Server Protector」は、前述の文書管理システム導入のハードルを回避しつつ、簡便に既存ファイルサーバーの統制を可能とする。

内部統制の強化が叫ばれ、同時に既存資産を無駄にせずIT投資の効果を高めることが求められている昨今、スピーディーかつ簡便な方法により効率的で安全な文書共有を実現する「File Server Protector」の有用性は高いと思われる。■

レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2010 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.